

# 公益社団法人神奈川県鍼灸師会 平成28年度 定時総会 議事録

日時:平成28年5月29日(日)午後2時~2時50分

会場:公益社団法人神奈川県鍼灸師会事務所

司会:秦宗広 総務部長

## 1. 開会の辞

日野博副会長により、開会を宣言された。

## 2. 会長挨拶

清水慎司会長より、挨拶が行われた。

## 3. 議長選出

会場より司会者一任の声があり、司会者より神山靖雄氏が指名された。

## 4. 定足数の確認

議決権総数224名中、出席者数23名、委任状数148名、合計171名の出席となり、定款第18条に従い、議決権総数の2/3以上の出席を確認したため、本定時総会の成立が報告された。

## 5. 議事録署名人および書記の指名

定款第19条に従い、議事録署名人に議長(神山靖雄)、代表理事(清水慎司)、監事(松原次良)が、書記に事務局(定成裕子)が指名された。

## 6. 議事

関連のある第1号議案から第3号議案までを一括上程方式にて行った。

### 第1号議案 平成27年度事業報告

秦宗広総務部長より、次第のとおり、各部の事業をまとめて報告された。追加で、広報普及部の事業である横浜マラソン鍼灸ボランティアでは、当会より21名の参加者があり、レース前の円皮鍼貼り付けが143名、レース後の鍼灸マッサージが536名、合計679名のランナーに施術を行ったとのこと。

### 第2号議案 平成27年度決算報告

石田伸財務部長より、別紙3の決算に関する資料のとおり報告された。今期の収益差異がマイナスであることについて、学術講習会の参加者減少、保険利用者の減少が挙げられた。

### 第3号議案 平成27年度監査報告

松原次良監事より、別紙4「平成27年度監査報告書」のとおり、すべてにおいて違反もなく、適正に執行されていたと報告された。

## 質疑応答

横浜市港北区の吉田志郎氏より、第1号議案の保険部事業で毎月行われている「療養費適正運用指導会」が記載されていないがなぜかとの質問があり、服部政博保険部長から「記載漏れであったので修正する」との返答がなされた。

## 議案の採決

第1号議案から第3号機案までの採決を行い、賛成票が過半数に達したため、承認可決された。

関連のある第4号議案から第6号議案までを一括上程方式にて行った。

### 第4号議案 平成28年度事業方針

清水慎司会長より平成28年度は、学術の更なるレベルアップ、震災を受けた経験から災害への取り組み、日本あん摩マッサージ指圧師会および神奈川県鍼灸マッサージ師会との連携、市民の健康について会員で取り組んでいきたいなどの方針が示された。

### 第5号議案 平成28年度事業計画

秦宗広総務部長より、別紙5「平成28年度事業計画」のとおり報告された。

### 第6号議案 平成28年度予算案

石田伸財務部長より、別紙6「平成28年度収支予算書」のとおり報告された。平成28年度は、会員増加による収益増を目指す。

### 質疑応答

特に質問はなかった。

## 議案の採決

第4号議案から第6号機案までの採決を行い、賛成票が過半数に達したため、承認可決された。

### 第7号議案 定款改正

秦宗広総務部長より、別紙7「定款改正案」のとおり、第43条の公告の方法について、広告の媒体を「一般広報誌」から神奈川県内で発行されている「神奈川新聞」に変更する案が示された。この変更は神奈川県より指摘されたとの補足があった。

### 質疑応答

特に質問はなかった。

## 議案の採決

第7号議案の採決を行い、賛成票が議決権総数の2/3に達したため、承認可決された。

### 第8号議案 役員改選

東田茂選挙管理委員長より立候補者が読み上げられ、定款第20条に規定されている定数を満たしているため選挙は行わず、定款第18条および第21条の規定に従い、各立候補者の賛否を問い、全ての立候補者が過半数の賛成を得たため、全員が選任されたことを宣言された。当選された役員は届出順で、理事に栗田康男、清水慎司、林邦昭、喜島顕、秦宗広、萱間洋平、藤田洋輔、吉田志郎、榊原範匡、窪田勤、監事に森下元、松原次良の12名。

任期満了による退任の役員、日野博副会長、千葉良仁副会長、服部政博副会長、石田伸財務部長、江波戸雄一広報普及部長より、一言退任の挨拶をいただいた。

## 7. 閉会の辞

松原次良監事により、閉会を宣言された。

以上、秦宗広作成

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事および議長は記名押印する。

平成28年5月29日

代表理事 清水 慎 司 印

監 事 松 原 次 良 印

議 長 神 山 靖 雄 印